



地球規模で直面する環境・資源・エネルギー問題を解決し、持続型社会の構築を実現するための知的マテリアル創製学を核とし、地域の資源と技術が融合することで発展してきたセラミックス産業文化を範として地域に即した多様な新価値を探究する国際的・学際的・融合的な先進セラミックスの工学研究を実施し、社会に還元する。

Our mission is the research of fundamental materials science and the development of advanced materials for the solution of environmental, resource and energy problems in the 21 century. Ceramics Research Laboratory (CRL) was established in 1973 and moved to Tajimi city in 1977. This East-Gifu area has a long history on a pottery product industry. The CRL had been supporting the industrial research of many companies in this local area so far. In 2012, the CRL was reorganized as the **Advanced Ceramics Research Cetner (ACRC)** for the purpose to develop intelligent material based on ceramics. Since then it has contributed to material science as well as academic education for research engineers in worldwide scale. Recently, some national projects and collaboration with other organization and companies have led to excellent academic and technological work in the field of ceramics and related materials.

国際連携グループ: International Collaboration

・設置目的に合致する分野で高度な知識をもつ諸外国の大学ならびに研究所職員との共同研究を推進

Visiting Prof. WANG Feng (Beijing University of Chemical Technology : China) 炭素材料、電気化学
Visiting Prof. Patrik Hoffmann (Swiss Federal Laboratories for Materials Science and Technology : Switzerland) ナノ加工、トライボロジー、レーザー化学
Visiting Prof. Marco Daturi (Laboratoire Catalyse & Spectrochimie : France) 触媒化学、表面・反応解析、赤外吸収分光法
Visiting Prof. Nicolas Bion (Institut de Chimie des Milieux et Matériaux de Poitiers : France) 触媒材料、触媒反応解析

地域連携グループ: Regional Collaboration

・設置目的に合致する分野における産学官連携共同研究の推進

井須 紀文 客員教授 (国立大学法人 信州大学) : 環境材料、多孔質材料、防汚抗菌技術
大司 達樹 客員教授 (産業技術総合研究所) : エンジニアリングセラミックス、多孔質材料
加藤 真示 客員教授 (株式会社 ノリタケ) : 多孔質セラミックス、構造用セラミックス
清原 正勝 客員教授 (TOTO 株式会社) : セラミックス薄膜・厚膜技術、エンジニアリング材料
小塚 久司 客員教授 (日本特殊陶業 株式会社) : 機能性セラミックス材料、センサ用セラミックス材料
高橋 章 客員教授 (日本ガイシ株式会社) : 環境用セラミックス、吸着・触媒材料
光岡 健 客員教授 : 構造用セラミックス材料、センサ用セラミックス材料
山崎 悟 客員教授 (株式会社 LIXIL) : 建築用セラミックス、環境材料
渡利 広司 客員教授 (産業技術総合研究所) : 高熱伝導セラミックス、無機ファイラー/ポリマー複合材料、焼結技術、産学連携

連絡先 名古屋工業大学先進セラミックス研究センター

[https://www.crl.nitech.ac.jp/\(セラ研HP\)](https://www.crl.nitech.ac.jp/(セラ研HP))
https://www.nitech.ac.jp/access/cera_access.html (交通7分)



詳しい研究成果の公開やイベント情報等は
左記QRコードあるいはHPから確認下さい。

- 旭ヶ丘地区 〒507-0071 岐阜県多治見市旭ヶ丘10-6-29 TEL 0572-27-6811 FAX 0572-27-6812
- 駅前地区 〒507-0033 岐阜県多治見市本町3-101-1 クリスパザ 4F TEL 0572-24-8110 FAX 0572-24-8109
- 御器所地区 〒466-8555 愛知県名古屋市中区御器所町 TEL&FAX 052-735-7536

名古屋工業大学 先進セラミックス研究センター 紹介

沿革

1973年 窯業技術研究施設創設 (名古屋市昭和区御器所町)
1977年 岐阜県多治見市旭ヶ丘に移転
1991年 セラミックス研究施設として拡充改組 (省令設置)
2001年 セラミックス基盤工学研究センターとして改組 (省令設置)
2012年 先進セラミックス研究センターとして改組

学部・大学院教育

教員は、名古屋工業大学工学部生命・応用化学科及び大学院工学専攻環境セラミックスプログラムに参画し、学部生、博士前期(修士)及び博士後期課程の研究指導を行います。また社会人大学院生の研究指導も行っています。

協定校及び連携協定

●本研究センターとの協定校

・リーズ大学 The Institute of Particle Science and Engineering (イギリス 2007.11.6締結 2022.11.6更新)
・Beijing University of Chemical Technology, The Institute of Carbon Fibers and Composites (中国 2007.11.21締結)
・Korea Institute of Ceramic Engineering and Technology (韓国 2008.3.31締結)
・CSIR-Institute of Minerals and Materials Technology (インド 2013.8.11締結 2023.8.11更新)
・Swiss Federal Laboratories for Materials Science and Technology, Laboratory for Advanced Materials Processing (スイス 2016.5.31締結 2021.6.18更新)

●本研究センターとの連携協定

・岐阜県セラミックス研究所 (2006.10.11締結)

学術研究

研究成果は、各種学会で発表するほか、国内外の学術雑誌に論文として公表されています。さらに、毎年、研究活動は、オープンキャンパス、成果報告会の開催及び年報の発行により広く成果が利用されるように工夫しています

公開講座・講習会・講演会・高度技術研修

セラミックス企業及び試験研究機関の技術者を対象に公開講座・講習会・講演会・高度技術研修を実施しています。

組織

2研究部門の下、7つの研究グループで構成されています。
また、プロジェクト研究所を設置して地場産業と密着した研究も行っています。

◆研究グループ

先進機能材料研究部門: Division of advanced functional materials

材料創製研究グループ 教授: 安達 信泰 (博士(理学))
Functional Materials R.G.

機能融合材料研究グループ 教授: 白井 孝 (博士(工学))
Functional Integration Materials R.G.

先進材料設計研究部門: Division of advanced material design

材料創製研究グループ 教授: 藤 正督 (博士(工学))
Materials Processing R.G. 助教: 西田 吉秀 (博士(工学))
特任助教(特任教員): 石井 健斗 (博士(工学))

材料評価研究グループ 教授: 井田 隆 (博士(理学))
Materials Design and Analysis R.G.

プロセス設計研究グループ 教授: 高井 千加 (博士(工学))
Process Design R.G.

◆連携グループ

国際連携グループ
International Collaboration

地域連携グループ
Regional Collaboration

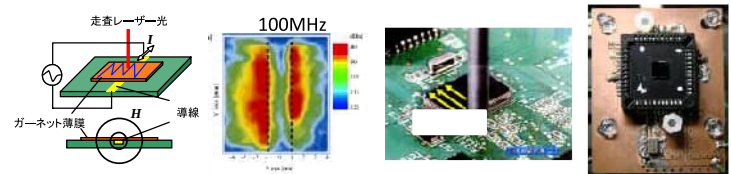
●プロジェクト研究所
・界面制御工学研究所

先進セラミックス研究センター	
教員	7 (教授5、助教1、特任助教1)
職員	5 (技術職員2、事務職員3)
非常勤・ボスド	15
学生	38
客員教授	13

2025年6月1日現在

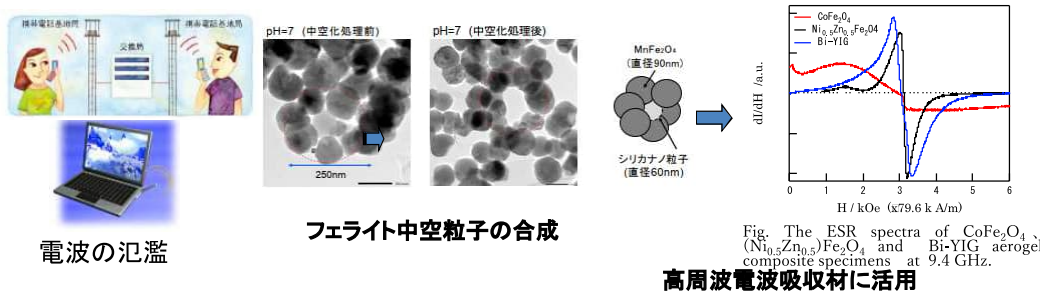
磁性体セラミックスの液相成長による低温合成

(1) 見えない電磁波を見るためのセンサー開発



磁気光学素子を置いて漏洩電磁界分布の強さを判定。

(2) 見えない電磁波を吸収する高周波電磁波吸収体の開発

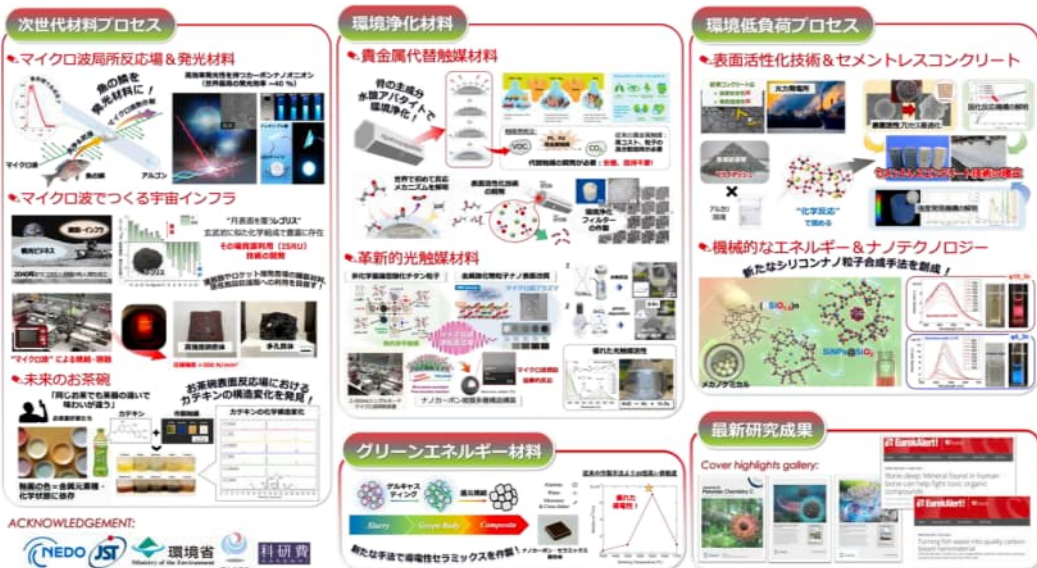


電波の氾濫

漏洩箇所を吸収材でシールド

機能融合材料研究グループ 白井孝(御器所)
新規環境材料創製プロセス～局所反応場の利用～

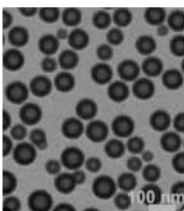
資源、エネルギーの循環やエネルギーの高効率利用、新エネルギー創出技術に資する革新的な材料/プロセス研究に対し、ナノ微粒子、複合材料、多孔質材料などの機能性材料に関連する基礎研究から応用に至る一連の研究開発を推進している。



研究理念: 作る時も、使う時も、使い終わっても、環境に負荷をかけず本当に使える材料を!

キーワード: 材料化学、界面化学、粉体工学、SDGs、カーボンニュートラル、省エネルギー

ナノ中空粒子



ナノサイズの粒子が持つ特別性質の探求と応用

- ・超断熱膜・反射防止膜
- ・高効率LED照明・蓄熱
- ・高速通信用低誘電率材料
- ・アルミ用防食膜
- ・滑り止め
- ・バレーボールに応用

無焼成固化

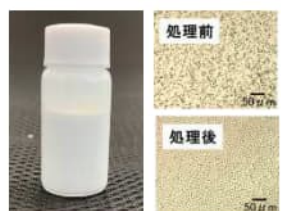


焼かずにセラミックスをつくる特殊技術の展開

- ・全固体電池
- ・太陽電池
- ・半導体
- ・導電性材料
- ・透明電極
- ・蓄熱材
- ・3Dプリント

原料販売
製品化も

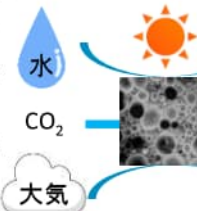
粒子分散系複合材料



固体材料以外にも塗料、医薬品・化粧品・食品に展開

- ・防食塗料
- ・異方性電極
- ・電磁気シールド材
- ・透明導電性薄膜
- ・自己組織化
- ・機能性塗料

環境改善材料



カーボンニュートラル社会構築に必要な材料創製

- ・水から水素
- ・CO2の固定化
- ・CO2をCOやCH4の有効材料へ
- ・海ゴミの活用 (沿岸油田計画)

材料評価研究グループ 井田隆(多治見)
理論と実験に基づく材料の機能解明～X線の利用～

研究の内容:

粉末X線回折の基礎研究と応用研究

装置の設計・製作

データ解析のための理論の構築

装置制御・データ解析プログラムの開発

データベース管理組織の運営

対象となる物質:

天然鉱物・金属・セラミックス・医薬品

分析の対象となる製品:

鉄鉱石、電子部品材料、医薬品、食品、化粧品、蓄冷剤、...

